

### 三浦小学校

『豊かさたくましさをもち  
活力のある児童の育成』

校長 田邊誠郎

#### ◆はじめに

本校は1年生10人、2年生9人、3年生8人、4年生11人、5年生5人、6年生13人の児童数56人、6学級編制の学校です。

#### ◆学校教育目標

人権尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさを持つ子どもを育てる。

- ※ 確かな学力を持つ子ども
- ※ 豊かな人間性のある子ども
- ※ たくましい心と体を持つ子ども

#### ◆校内研究について

##### 研究主題

「主体的な学習活動をめざして、よく聞き、よく考え、豊かに表現する力を育てる。」  
全国的に国語力に課題があることが報じられています。

本校でも学習の基礎である、聞く力・書く力・発表する力に取り組んできており、児童朝礼での発表や学習発表会などでその成果も表れてきています。しかし、学力テストの結果から、読む能力や書く能力に課題があることが判明してきています。そこで、説明文を中心に国語力の向上に取り組むことが必要と考えられます。

算数科においては、数学的な考えや図形・数量関係などに課題も見られますが、基礎タイムやがんばりっ子「基礎学力定着の時間」での取り組みによりスキルの向上が見られます。

教科を中心しながら、信頼しあえる生活集団や学びあう学習集団づくりも学級・学校経営の中で構築することが大切と考えます。

##### 【具体的な取り組み】

- ① 児童に分かる授業の工夫と改善を行っていく。
- ② 支え励まし合える学習集団を育てる。
- ③ 家庭学習の充実と定着を図る。

家庭学習の手引きを活用し、

- 低学年30分以上
- 中学年45分以上
- 高学年60分以上

を目標に指導していく。

- ④ 国語力の育成を行う。
  - 読み取る力の育成
  - 聞く力の育成
  - 書く力の育成
  - 発表「表現」する力の育成
- 以上の4項目について具体的な指導を行っていく。

- ⑤ 学習の到達目標を設定して指導を行う。
- 算数・国語定着8〜9割を目標に徹底指導を行っていく。
- ⑥ がんばりっ子・基礎タイムを実施する。

朝読書を15分間実施し習慣化していく。

- 5校時前10分間算数の基礎スキルの実施で定着を図る。
- ⑦ 学力検査の分析と活用を行う。

##### 【LIVINGの教育】

- ① 道徳教育の推進
- ② 人権教育の推進
- ③ 読書の推進
- ④ 正しいことばづかいの推進
- ⑤ 生活集団づくりの推進
- ⑥ 特別支援教育の推進

平成24年度標準学力調査

		2年	3年	4年	5年
国語	本校	81	90	78	82
	全国平均	80	78	67	69
	期待正答	79	74	66	68
算数	本校	84	93	80	73
	全国平均	85	75	69	65
	期待正答	80	72	66	64

#### 【基本的生活習慣の育成】

- ① すすんで返事・あいさつ・お礼を推進する。
- ② 心をこめて掃除や作業を行う。
- ③ 早ね・早起き・朝ごはんの推進

#### 【豊かな体験活動と交流学習の推進】

- ① 人・事・物・産業・文化などとの出会いやふれあい活動

#### ◆学力について

今年度の標準学力調査では、国語・算数とも全国平均・期待正答率にほぼ達成し・向上してきています。

#### ◆開かれた学校づくり

学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、地域ぐるみで子どもたちの教育に取り組むことを目的に、「三浦の子どもを育てる会」を設立し活動を行っています。

5月に総会を行い、3月にまとめの会を実施します。

12月に世代間交流(昔遊び・地域の食材を生かした料理・校舎の落成式など)を地域の方と共にを行います。

その他、月の1日は保護者が交通安全指導を行い、10日・20日は職員で行います。地域の方々も協力してくれています。この3日間は集団徒歩通学を行っており、全員がそろってから登校してきます。

また、児童会が中心になり月の5日と15日は2カ所でありさつ運動を行っています。

そして、学校に来ると職員室にあいさつをして学級へと移動しています。

このようなさまざまな取り組みが地域を元気づけ、心豊かで明るいあいさつのできる児童に育っていく役割を担ってくれているのではないかと考えます。

## 南郷小学校

「ふれあい・しんらい・  
そして厳しさ！」  
校長 黒岩惣一



親子避難訓練の様子



朝の避難訓練の様子

平成24年3月14日に完成した新避難路。高さ海抜36メートル(スロープ+階段85段)。

◆平成24年度の南郷小学校は8人の新入生、5人の教職員を迎えて、児童数39人(男子18人、女子21人)、教職員数13人でスタートをきりました。

学校教育目標である「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」をなかく、かしこく、たくましくを目標として、児童・保護者・地域・学校が一体となり、文武両道で頑張っています。

また、黒潮町は今年3月に報道された地震による津波の高さ予測が全国1位となり、本校は新避難路(今年3月完成、高さ36メートル)への避難訓練を昨年以上に「低い所から高い所へ、高い所からより高い所へ」を合い言葉に積極的に実施しています。

上の写真は5月20日の「ふれあい参観日」で実施した「親子避難訓練」と5月24日の朝に実施した避難訓練の様子です。児童全員が運動場から約3分で頂上まで登り切りましたが、登り切る体力の重要性をあらためて実感させられたことでした。保護者の方々は、特に感じられたことだと思います。

本校が防災教育を推進するにあたって、「主体的な判断ができる」「知育」「避難訓練など真剣に取り組むことができる」「徳育」「安全な場所まで逃げ切ることでできる」体力をバランスよく総合的に育成してまいります。

### ◆本校が児童につけたい力とは！

「知・徳・体をバランスよく教育し、児童に「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけさせることにより、「社会人基礎力」の基礎・基本を育成したいと考えています。」

- そのために以下(①)～(⑦)の取り組みを行っています。
- ①命を守る教育の徹底(防災教育の視点から)
  - ②生きる力(基礎・基本・応用力)を育む教育の徹底
  - ③子どもの心に寄り添う教育の推進
  - ④特別支援教育の推進
  - ⑤学校・家庭・地域との連携による教育の推進
  - ⑥体力の増進
  - ⑦生活指導の徹底とキャリア教育の推進
- ※「前に踏み出す力」とは、主体性・働きかけ力・実行力。



5・6年：授業の様子

※「考え抜く力」とは、課題発見力・計画力・創造力。  
※「チームで働く力」とは、発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力。



2年：授業の様子

### ◆本校児童39人の良いところ(生活面・学習面)を紹介させていただきます。

- 《生活面》
- あいさつができる
  - 外で元気に遊べる子どもが多い
  - 明るく元気
  - 子どもらしく、人なつっこい
  - 仲が良く、みんなで遊べる
  - 掃除をまじめにする
- 《学習面》
- 課題に対し、真面目に取り組む
  - 指示されたことはできる
  - 頑張つてやろうとする
- ※他にもいっぱい良いところがありますが、これから改善していかなくてはいいところも多少あります。

### 平成24年度 標準学力調査の結果より

	2年	3年	4年	5年
国語	0.89	1.09	1.19	1.19
算数	1.00	1.08	1.12	1.23

※期待正答率を「1」とした本校の正答率指数